

JA自己改革への挑戦

JA金沢中央は、組合員に必要とされるJA・地域に密着したJAを目指し、新たな挑戦(自己改革)に取り組んでいます。

農地保全と多様な担い手への支援活動

- 水稲作付けが困難な農家支援として、農作業受託・耕作放棄地の保全作業に取り組んでいます。
- 多様な担い手ニーズに応えるため、今後更なる支援体制の整備・拡大を図ります。

営農指導體制の強化とライスセンターの有効活用

- 農作業栽培における相談・指導機能の強化として、職員に営農指導員資格の取得促進を図っています。また、全職員が農業の大切さ、大変さを実感するため、全職員による野菜栽培実習体験を行っています。
- 全支店において野菜栽培講習会を実施するとともに、病虫害や適応農業などがすぐわかるタブレット端末の導入等により、営農指導の充実を図っています。
- 省力化・増収・刈取遅延対策の推進として、殺虫や追肥指導を圃場巡回による個別相談対応を実施しています。
- 新ライスセンターの増設により、既存センターとの有効利用・効率運用を図り、利用促進を図っています。

JA直売を通じた農産物の有利販売

- ふれあい朝市を開設し、管内農産物の直売を始めました。
- 大徳金時を使用した焼酎『金澤犀華』の製造・販売を始めました。
- 管内産米の全量直接買入に努め、今後も更なる生産者への利益還元に努めます。

追伸. 本年3月までに、当JAでは1,400名の組合員の方を対象に、「JAの自己改革に関する組合員アンケート」を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。

